

残せばいい 保険証を

「資格確認書」発行で新たな混乱

マイナー本化



マイナンバーカードの
見本（お
もて面）

資格確認書と保険証はこんなに違う

資格確認書	「当面の間」だけ 必要なし	申請	必要なし	保険証
	最長5年	有効期間	原則なし (被用者保険)	
	マイナ保険証を 持たない人など	対象	全員	

マイナンバーカードと健康保険証を一本化した「マイナ保険証」を強要するため、岸田政権は来年秋に今の保険証を廃止しようとしています。マイナ保険証を持たない人などに「資格確認書」を発行するとしています。が、「確認書」は保険証とは全く違います。(表)

現在の保険証は、自治体や保険組合などが責任をもって加入者である国民に届ける仕組み。「確認書」は、マイナ保険証を持たない人などに発行します。しかし「持たない人」を特定するのは大仕事で、自治体や保険組合には新たな負担となります。混乱は必至。こんなやり方は無謀です。今の保険証を残せば何の問題も起きません。

震源地は財界

狙いは個人情報

岸田政権がマイナンバーカードを押し付ける背景には、財界の要求があります。①財界は個人情報をビジネスに利用するため、その道具としてマイナ制度を推進②マイナ制度はもともと徴税強化、社会保障削減を国民に押し付けるためでした。

通常出るトリチウム水と「処理水」はまったく違う



福島第1原発の汚染水貯留タンク群

政府は国際原子力機関 (IAEA) の報告をもって「海洋放出の安全性が確認された」と宣伝しています。しかしIAEAは原子力利用を促進する機関で、環境保護や人権を守る点で中立とは言えません。報告は、日本政府が提出した海洋放出計画を追認しただけで、海洋放出を推奨しているわけでもありません。

放射性物質が含まれる

「アルプス処理水」は通常運転の原発から出るトリチウム水とは発生のプロセスが全く違います。「処理水」は、地下水が事故で溶け落ちた核燃料に直接さらされてできたものです。そのため、トリチウム以外にもヨウ素129やストロンチウム90など多くの放射性物質が含まれています。排出濃度基準以下になっても、放射性物質が含まれていることは変わらず、放射性物質が最終的にどれだけ放出されるのか、総量も明らかにされていません。(詳しくは「赤旗」日曜版10日付)

秋本議員逮捕 首相と自民の責任重大

受託収賄容疑

洋上風力発電事業をめぐり、風力発電会社の前社長から総額約6000万円の賄賂を受け取ったとして、東京地検特捜部は7日、受託収賄容疑で、衆院議員の秋本真利容疑者 (48)=自民離党=を逮捕しました。秋本容疑者は、会社の希望に沿った質問を行い、事件発覚まで外

務政務官を務めていました。

共産党の小池晃書記局長は同日の街頭宣伝で岸田首相と自民党の任命責任は重大だとし、徹底した真相解明と議員辞職させることを要求。「政治とカネ」問題の背景には企業・団体献金があるとして、禁止を強く求めました。



秋本真利議員

日本共産党